

第4章 ま と め

視覚障害者用Windows画面読み上げソフトウェア第二次試作の開発では、第一次試作の問題点の改善とWindows 95への移行を行った。この結果、読み上げの音声合成部は、読み上げ途中の音声のスキップ機能や読み上げの一時停止と再開など、視覚障害者の使い勝手を考慮した性能をもつことができた。本ソフトウェアは、汎用の日本語入力システム（MS-IME95とATOK10）、ワードパッド、Excelなどに対応した読み上げが可能である。これにより、視覚障害者がパソコン利用の目的として挙げているワープロや表計算用アプリケーションの使用環境を提供でき、実用的な読み上げソフトウェアを開発することができたと言える。この結果、本ソフトウェアは、企業で働く視覚障害者をはじめとする多くの視覚障害者からの強い要望を受けて、市販化されることとなった（図14）。

今後、視覚障害者がWindows環境へ移行していけるためには、Windows上で動作する読み上げ対応アプリケーションが増えることが重要である。すなわち、既に可能となった上記のパソコン作業のほかに、インターネット、LAN、電子メール、パソコン通信、電子ブック、辞書検索、プログラミングなど、視覚障害者の職場環境を向上させる作業が、Windows環境で行えるようになることが望まれる。当センターにおいてはこれらのうち、インターネットのホームページを閲覧するWWWブラウザ、電子メールソフト、パソコン通信の音声化を企画している。

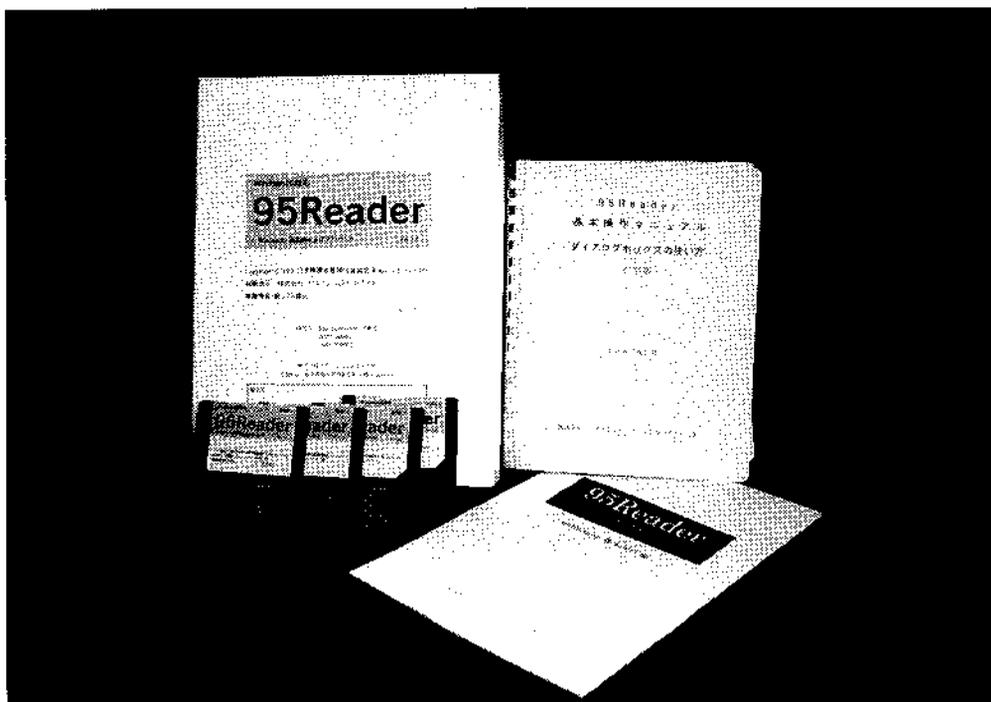


図14 Windows 95画面読み上げソフトウェア95Readerの製品版

謝 辞

視覚障害者用Windows画面読み上げソフトウェアの開発は、障害者職業総合センターの「重度障害者の職域拡大のための総合的就労支援技術の開発に関する研究」により進められています。本研究会において貴重な御意見を賜った障害者就労支援技術開発研究委員会、並びに視覚障害専門部会の委員の方々に御礼申し上げます。

長谷川貞夫氏には漢字の音訓読み辞書の使用を快く許諾していただきました。寺島彰氏にはフォネティック読みデータを、伊藤道夫氏には音声出力用詳細読みデータSHOUSAI.TXTを提供していただきました。各氏に深く感謝いたします。

参 考 文 献

朝日新聞：「キーワード「ウィンドウズ95」」，1996年9月21日朝刊，pp11，1996.

日本障害者雇用促進協会 障害者職業総合センター：「重度障害者の職域拡大のための総合的就労支援技術の開発-その2-」，日本障害者雇用促進協会 障害者職業総合センター，pp69，1996.

ショートカットキー，「Microsoft Windows 95 Operating Systemファーストステップガイド」，マイクロソフト株式会社，pp96-98，1995.

長谷川貞夫・水野舜・松井新二郎・篠島永一：六点漢字音声変換ワープロによる国語辞書検索システム，第11回感覚代行シンポジウム講演論文集，pp98-101，1985.

寺島彰・数藤康雄・伊藤道夫：音声出力用詳細読みデータ SHOUSAI.TXT VER1.00, NIFTY-Serve: PGB01235, 1992.

渡辺哲也：視覚障害者のパソコン利用における音声による文字の区別，職リハネットワーク，9，2，pp 28-31，1996.